

レジメン名

DTX+darolutamide

出典

ニュベクオ適正使用ガイド2023年2月作成
ARASENS試験

実施部署区分

☐入院

☒外来

☐処置

対象疾患

遠隔転移を有するホルモン感受性前立腺癌
(mHSPC)

☒進行・再発

ADT[※]を12週間以内に開始していること

☐補助療法(術前・術後)

☐

※ADT: LH-RHアゴニスト/アンタゴニスト、精巣摘除術

投与減量の基準(DTX)

その他

発熱性好中球減少症、500/mm³未満の好中球が1週間を超えて持続、重度または累積的皮膚反応、
重度末梢性ニューロパチー
上記の場合、75mg/m²→60mg/m²→中止

投与減量の基準(ダロルタミド)

その他

グレード3又は忍容できない副作用から回復後、
1回300mg1日2回に減量

投与中止の基準(DTX)

ANC	1500/mm ³ 未満	T-bil	1.2mg/dL超える
AST,ALT	60IU/L超える		

投与中止の基準(ダロルタミド)

Hb	9.0g/dL未満	PLT	10万/mm ³ 未満
sCR	男性:2.16mg/dL以上、女性:1.6mg/dL以上		

その他

Child-Pugh分類Cの肝機能障害
透析を必要とする末期腎不全(e-GFR 15mL/min/1.73m²未満)
グレード3以上又は忍容できない副作用

1クール期間

21日

総クール数

PDまで

(次のクールまでの標準期間)

DTXは6サイクルまで

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
ダロルタミド(ニュベクオ)	1200mg/day	朝夕食後		連日
ドセタキセル	75mg/m ²	輸液250mL	1時間	day1(ニュベクオ開始後6週間以内に開始、6サイクルまで)
ブレドニゾン	10mg/day	分2		連日(併用はDrの判断)

1日投与順
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、
溶解液まで含む)

連日

①ニュベクオ1200mg/日 朝夕食後

day1(6サイクルまで)

①デキサート9.9mg+ボラミン5mg+生食100mL(30分)

②ドセタキセル75mg/m²+輸液250mL(60分)

③生食50mL(全開)

連日(併用はDrの判断)

①ブレドニン(5) 2錠 分2朝夕食後